

埼玉の新しい力。

NEW LEADER



埼玉県議会議員

2021-2022

よこかわ

横川まさや

県議会レポート

E-mail: masaya@yokokawa.me

横川まさや公式HP「横川まさや.jp」で検索!

発行:埼玉県議会自由民主党議員団 横川まさや事務所 埼玉県東松山市箭弓町2-12-13
TEL.0493-77-5050 / FAX.0493-77-1000

令和4年度 ● 役職:自由民主党議員団副幹事長 ● 所属委員会:議会運営委員会(副委員長) / 経済・雇用対策特別委員会(副委員長) / 産業労働企業委員会

令和3年度 議会活動報告

県政史上最大規模 《一般会計当初予算》 2兆2,284億5,900万円を議決

直面する危機からの脱却と日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現へ



県議会 2月定例会では予算特別委員会において部局別質問に立ち、令和4年度予算について質疑を行いました。

令和3年度2月定例会は2月17日に開会し、過去最大となる一般会計当初予算2兆2,284億5,900万円等を議決し、3月25日に閉会しました。

「直面する危機からの脱却」と「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」の2つを柱に掲げた当初予算は、最も重要な課題として新型コロナ対策として約1,845.5億円が計上され、ワクチン接種医療機関への支援をはじめ高齢者施設などのクラスター対策の強化などが盛り込まれました。またウィズコロナの下、その有用性が高まっているデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進についても、県庁のDX化を進めるために約31.8億円、中小企業のDX化支援に約1.8億円、キャッシュレス決済の導入を進める商店街支援に約1.4億円などが計上されました。

新型コロナ感染症の長期化にともない県の財政は厳しい状況が続きますが、県民の安心・安全の確保を最優先に、人々の生活と健康、地域経済を守るために全力で取り組んでいく所存です。

エスカレーターは止まって!

安全利用条例が施行されました

今年の2月定例会で私たちが提案し成立しました「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が10月1日から施行されました。

県は主要駅で街頭キャンペーンを行うとともに、ポスターやPRシール、アナウンス音声データを作成して管理者へ提供し、エスカレーターを利用する全ての方々に安全な利用を呼びかけています。



ひきこもり支援条例を提案・制定

私たち自民県議団は2月定例会において「ひきこもり支援条例」を提案し、制定しました。

ひきこもり状態にある方は、自身の将来をはじめとする様々な不安を抱えており、これはその家族も同様です。しかしながら、身近に支援を受けることのできる場所がなく孤立しているケースも多く見受けられます。ひきこもりの支援は、本人の意思を無視してはいけません。そして、本人及びその家族が孤立することのないよう、身近に安心して支援を受けることのできる環境を整備することが必要だと私たちは考えています。



一般質問に登壇(令和3年度9月定例会)

東京オリンピック・パラリンピック後のレガシーについて、犯罪被害者支援、新型コロナウイルス対策など質問・提言

令和3年度9月定例会では一般質問に登壇し、大野知事はじめ県執行部と一問一答方式で「東京2020オリンピック・パラリンピック開催後のレガシーについて」「犯罪被害者支援の更なる強化について」「新型コロナウイルス感染症対策について」など8項目18件にわたって質問・提言を行いました。今号ではその主な内容を掲載いたしました。皆さまのご意見やご感想などをいただければ幸いです。

東京2020オリンピック・パラリンピック開催後のレガシーについて

■無観客開催により、大会会場での観戦が叶わなかった県民への代替え措置の実施について

Q 横川 大会期間中にながななかつた国内外の選手との触れ合いや試合観戦について、代替措置を実施し機会を提供することが「レガシー」につながるのではないかと提言しました。

A 知事 大野知事は「議員ご提案の大会会場での試合観戦などは大変有意義だと考える」と私の提言を受け止め、さらに「埼玉スタジアムでのJリーグの試合に小学生や保護者を招待する企画を進めている。さいたまスーパーアリーナには、バスケットボール日本代表選手のユニフォームなどを展示するメモリアルスペースを設置し、見学会の開催を企画している。『レガシー』を今後のスポーツ振興につなげていけるよう企画していく」との前向きな答弁がありました。



埼玉県の表彰候補者への考え方について

Q 横川 表彰候補者の選考においては、世界基準の幅広い視点でスポーツ・文化の各分野ごとに適した評価をすることが重要です。しかし同じチームで優秀な成績を収め、他のチームメンバーが地元で表彰されたのに、埼玉県出身者の方だけ表彰されないという状況を作るべきではありません。他の自治体と大きく乖離した評価にならないよう、各分野での県民の活躍に広く高くアンテナを張り、公正・公平な表彰となるよう努めるべきだと提言しました。

A 県からは「県の表彰制度は平成30年3月に見直し、新しい制度の運用を開始したばかりなので慎重に対応していきたい。議員ご指摘については今後検討する」との答弁がありました。

提案の結果、2月定例会にて彩の国功労賞の表彰者が決定され、団体・個人それぞれが表彰されることになりました。

犯罪被害者支援の更なる強化について

■性暴力、性犯罪被害の対策強化について

Q 横川 相談者のうち、0~9歳の相談件数が全体の1割という結果もあり、その対策の明示が必要です。アイリス啓発カードの配布対象年齢を幼稚園や小学校まで拡大し、相談窓口の体制強化に必要な人員の増加など、対策のさらなる充実を求めました。

A 県からは「対象を幼稚園、小学校の保護者向けに、強力に分かりやすく発信しなければならないと思う。分かりやすい事例とアイリスホットラインの電話番号をつけた広報を行いたい。相談支援体制についても今後の状況を見据えながら、引き続き充実・強化を図っていく」との答弁がありました。



新型コロナウイルス感染症対策について

■ 応援職員の安定配置による業務過多の解消について

Q 横川 応援職員の派遣のあり方について、なぜ業務が逼迫してから職員を派遣するような後手の対応が繰り返されたのか？現場が求める応援を実行できなかったのか？一連の問題の対応策について質問しました。

A 県からは「今後は機を逃さず配置できるよう、各保健所の事務処理状況等を注視し、感染者急増の予兆を捉えていく。また応援職員の長期配置が可能で、業務の習熟が期待できる民間派遣も取り入れていく。さらに応援職員が機動的に活用できるようマニュアルの再確認を進める」との答弁がありました。

■ 情報発信および統計・分析調査を担う専門人材の配置について

Q 横川 新型コロナの感染状況などについて、保健医療部職員が統計・分析を行い、情報の整理に努めています。保健医療部の業務過多を軽減し、統計データの分析・調査の精度を高めるためには、専門人材を配置する必要があると提言しました。

A 県からは「9月から感染動向分析等を統括する職員を長期的な応援職員として配置した。この職員を中心に感染動向分析等の事務のICT化を進め、統計・調査・分析体制を強化する。また、新たな体制を構築する中で、分析・調査に長けた人材の配置についても検討したい」との答弁がありました。

魅力ある県立高校づくりに向けて

■ 選ばれる高校と求められる特色について

Q 横川 私立高校と県立高校は施設環境の格差や進学への支援体制など様々な面で比較され、県立高校の改善を求める声も聞かれます。生徒や保護者から選ばれる県立高校とは、求められる特色とはどういうものなのか。県内には男女別学の県立高校があり、生徒目線・保護者目線で求められる特色の一つと考えられます。統廃合だけでなく、特色を守りながら取り組んでいくべきだと提言しました。

A 教育長 教育長からは「公立の男女別学の高校があるのは埼玉、群馬、栃木、千葉の4県のみで、大きな特色の一つだと思う。県立高校には地域との様々な連携の中で設立された経緯がある。そうしたことも踏まえてより一層魅力ある県立高校づくりに努めたい」との答弁がありました。

■ 高大連携講座「彩の国アカデミー」を全県展開へ

Q 横川 平成18年より埼玉大学と県南部の高校6校(大宮・浦和・浦和第一女子・浦和西・浦和北・川口北)が協定を結び、学校外学修による単位認定「彩の国アカデミー」を実施しています。埼玉大学の高大連携講座では高校生が大学生と一緒に大学の授業を受け、高校によってはその授業が単位として認定されます。このような高大連携講座を全県に展開するべきだと提言しました。

A 教育長 教育長からは「県内の大学に高校生が受けられる講座を開設して頂けるよう働きかけるなど、高大連携の取り組みが一層促進されるよう積極的に取り組んでいく」との答弁がありました。

地元問題について

■ 都市計画道路本町通線の事業化について

Q 横川 都市計画道路本町通線の東松山駅入口交差点から若松町一丁目交差点までの区間の早期事業化が必要だと提言しました。

A 県は「東松山市の意向、現在整備を進めている都市計画道路駅前東通線の進捗状況を踏まえ、総合的に考えていく」との答弁でした。

■ 県道日高川島線の整備について

Q 横川 県道日高川島線について、県道日高川島線天神橋交差点から南園部交差点までの区間の整備実施を要請しました。

A 県からは「過去に事業反対の請願書が提出され事業が休止していた。地元の総意として請願書の取り下げと整備の要望があり、現在、現況測量や交通量調査を実施し、事業再開に向けて検討を進めている。年内には地元説明会を開催し、本格的に事業に着手していく」との答弁がありました。



■ 一級河川市野川の改修事業の工程と早期着手に向けた県の取り組みについて

Q 横川 一級河川市野川の整備強化に向けた改修事業の工程と早期着手に向けた県の方針について質問しました。

A 県は「新しい諏訪堰は令和3年度末完成を目指し進めている。令和4年度には古い堰の撤去と新旧の堰の間の河道整備に着手する予定。一方、古い堰の下流、吉見町大串地区と江網地区には用地境界が未確定のため未整備の箇所がある。この2地区については地元の方々のご理解・ご協力をいただきながら1日も早い工事着手を目指し、これらの工事が完了後、諏訪堰付近から上流区間の整備を進める方針。国の『国土強靱化のための5か年加速化対策』を最大限活用し、市野川流域の整備を加速化していく」との答弁がありました。



市野川の城南新宿橋下流で整備工事をする新たな諏訪堰の現在の様子

地元で進行中の主なインフラ事業

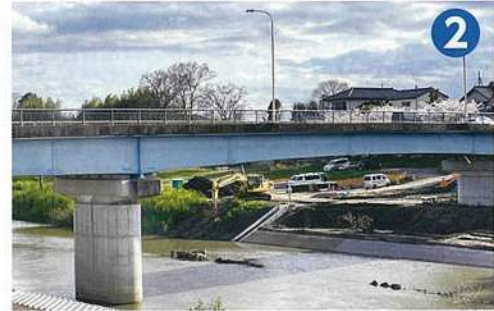
①城南新宿橋の4車線化工事

県道東松山鴻巣線の4車線化に伴い市野川に架かる城南新宿橋の橋梁4車線化の工事も進んでいます。



②慈雲寺橋の橋梁修繕&河道拡幅工事

東松山市と吉見町をつなぐ慈雲寺橋の橋梁修繕工事（護岸復旧工）及び市野川の河道拡幅工事は順調に進行中です。



③県道鴻巣川島線の歩道整備

県道鴻巣川島線（吉見町地内） 衛生研究所交差点から上荒子バス停付近の歩道も整備されました。現在は、更に北側の歩車道整備を進めて頂いており、寺家谷橋の架け替え工事も同時に進めているため暫定的な車道を設置しています。

荒子周辺地域の皆様からいただいた要望の実現に向けて工事が進んでいます。



④市野川堤防天端の舗装工

市野川の堤防天端の舗装工、木柵による堤防の嵩上げ工事（用地確保までの暫定的措置）を実施いただきました。

吉見町大串地区、江綱地区の皆様からの要望を受けて町議会議員の皆様と共に埼玉県に要望活動を重ねた結果、早急に整備対応を進めていただきました。



⑤東松山インター前周辺の再整備

これまで、東松山インターチェンジ周辺交差点の再整備とアクセス道路の改善を繰り返し強く要望・提言してきましたが、国道254号へ進入するための右折レーンと信号機が設置され点灯が開始されました。

今後は、一方通行だった県道深谷東松山線が相互通行となり、東松山IC前から青鳥小学校前の歩道橋方面に新たな道路が開通される予定です。



110-3

111-2

埼玉の新しい力。

NEW LEADER



埼玉県議会議員 **ダイジェスト版**

よこかわ

横川まさや

県議会レポート

E-mail: masaya@yokokawa.me
http://www.yokokawa.me/home

発行:埼玉県議会自由民主党議員団 横川まさや事務所 埼玉県東松山市箭弓町2-12-13
TEL.0493-77-5050 / FAX.0493-77-1000

地域の声を県政に生かす!

皆様に県議会へと送り出していただき、8年を迎えます。この間、議会での活動はもとより地域の皆さまと県政をつなぐ役割を果たすべく県民の皆さまの真の理解者、代弁者となるよう「声を力に。」そして「声をカタチに。」をスローガンに微力ではありますが皆さまざまのご要望実現に向け精一杯取り組んでまいりました。

この度の県議会レポートは、私が議会でどのような政策立案や提言を行ってきたか、また、どのような成果が生まれたか、そして今後取り組むべき政策課題について皆様にご報告します。

「埼玉の新しい力。」を旗印に、地元東松山市、川島町、吉見町、そして郷土埼玉を明るく元氣な希望と発展可能性に満ち溢れたまちへと誘うことが私の使命と感じています。これからも常に新たな挑戦を続けながら政策を実現すべく、あらゆる課題と向き合い、皆さまと手を携えながら挑戦を続けていく所存です。



大野元裕知事とはタッグを組んで地元問題から県政全体の課題について相談しながら取り組んでいます。

埼玉県議会議員 **横川雅也**

県議会議員としての主な「実績」と「成果」

政策立案能力を発揮!! 自ら複数の条例制定を手がけ、日本一に!!

自ら起案した「県犯罪被害者等支援条例」や「県虐待禁止条例」「県ケアラー支援条例」など、県民の安心安全につながる**24件**の条例を成立! 議員提案条例の制定数は「**日本一**」を誇ります!!

※詳しくは6頁に掲載

全ての子供が学びたい高校を選択できるように!

私立高等学校父母負担軽減事業を充実させ、授業料の実質無料化措置世帯の拡大を実現!! 学校制服の価格適正化を進めるとともに、県立高校における体育館を含むエアコン設置など学校施設の充実と新たな専攻科目の開設を提言!!

医療提供体制の充実へ向け、医療人材の育成・確保へ向けた提言を国へ要請!

県議会として国への意見書の提出も行ってきました! 医療機関の病床数の増床や医療人材の育成・確保策を推進!! 空白地帯となっている比企地域の災害拠点病院の指定推進やDMAT隊の人員要請へ!

地元全域にわたり、横断歩道や歩道橋の一斉補修工事を提言・実現!

東松山鴻巣線(吉見町)の4車線化をはじめ、日高川島線、東松山インター周辺の再整備など提言を重ねたことにより各地区の幹線道路網や河川の整備事業が一気に加速!

※詳しくは2頁~5頁に掲載

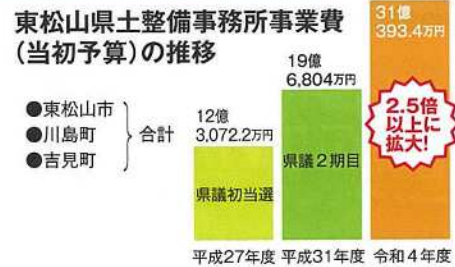


利便性向上や安心安全の実現めざし《県議会議員として2期8年の実績と課題》

県政に地域の声を届け地元事業が大きく前進!!

●数字で見る東松山市・川島町・吉見町の事業状況

県議会議員として働かせていただいていた8年間で、地元の事業予算を2.5倍以上に増やすことができました。皆さまと一緒に取り組んできた成果だと思います。



■県道日高川島線の事業化実現 (川島町中山地区)

県道日高川島線の未整備区間については、一般質問に立つごとに県道日高川島線天神橋交差点から南園部交差点までの整備の実施を提言・要請してきました。その結果、令和4年度から事業化され整備が着実に進んでいます。



■東松山IC周辺の再整備

これまで、東松山インターチェンジ周辺交差点の再整備とアクセス道路の改善を繰り返し県に要望・提言してきましたが、国道254号へ進入するための右折レーンと新たな信号機の設置が実現しました。

今後は県道深谷東松山線が相互通行となり、東松山IC前から青鳥小学校前の歩道橋方面に新たな道路が開通する予定です。



■東松山駅周辺の道路環境整備

東松山駅周辺の整備については、自治会、商店会、市長を招いての意見交換会を行い、地元の意見を集約しながら議会での提言・要望を重ねてきました。さらに一般質問でも駅前東通線の電線地中化の整備方針をはじめ、第一小学校通線の『ぼたん通り商店街』区間の歩道の拡幅について提言・要請をしてきました。

その結果、駅前東通線の残る工事区間整備のスピードアップと、第一小学校通線(通称 ぼたん通り)の相互通行化に向けた事業がスタートしました。また、市立図書館南側の東松山駅入り口交差点に右折レーンが設置されるなど、整備が着実に進んでいます。



■県道東松山鴻巣線〈4車線化〉

県は、平成27年の私の議会での提言を受け本路線を県の重要5路線に指定し、現在は東松山市の国道407号新宿小(南)交差点から市野川に架かる城南新宿橋の橋梁4車線化を含め、いちごの里よしみ(広域農道)までの4車線化へ向け吉見町と連携し事業を進めています。



■県道川越栗橋線〈歩道整備〉

下狝南交差点から表交差点までの歩道整備と、表交差点から山ヶ谷戸交差点までの区間及び山ヶ谷戸交差点から桶川市方面の早期整備を要請し、県も重点整備箇所として取り組んでいます。さらに地元区長の要望を受け、新たな横断歩道の設置も実現しました。



県道鴻巣川島線〈歩道整備〉

一般質問等で歩道未整備区間について、早急な整備の実施を求めてきた結果、県もその必要性を認め、衛生研究所交差点から上荒子バス停付近の歩道整備が実現しました。現在は北側の歩車道整備と寺家谷橋の架け替え工事が同時に進められています。



歩道整備前と整備後の県道鴻巣川島線



都市計画道路本町通線（県道行田東松山線）の事業化について

都市計画道路本町通線（県道行田東松山線）の東松山駅入口交差点からピバモールが立地した若松町一丁目交差点（5叉路）までの区間の早期事業化を求めて一般質問で提言したところ、県は「現在整備を進めている駅前東通線の整備の経過を踏まえながら事業時期が重ならないよう市と協議して事業化に向けて総合的に考えていく」との前向きな方針を示しました。



市野川堤防天端の舗装工（吉見町、川島町）

市野川堤防天端の舗装工、及び木柵による堤防の嵩上げ工事（用地確保までの暫定的措置）が実施されました。

- 吉見町大串地区、江綱地区の皆さまからの要望を受け、町議会議員の方々と県に要望を重ね、迅速な整備が実現しました。
- 川島町小見野地区の堤防天端の舗装も順調に進んでいます。



荒川堤防天端（県道平沼・中老袋線）の整備について

川島町出丸地区から入間大橋、開平橋へと向かう荒川の堤防上を通る県道平沼・中老袋線の一部区間は、幅員5m程度でガードレールなどの安全対策も施されていません。一般質問等で何度も国交省への働きかけも含め、地元自治体と県が一体となった早期対応を要請しました。

県も「国土交通省による堤防整備の進捗状況を見ながら県道の拡幅について国と調整を進めていく」との答弁を得ています。



荒川堤防沿い（県道小八林久保田下青鳥線）の安全対策について

吉見町中曽根地内から熊谷市へつながる県道小八林久保田下青鳥線の荒川堤防沿いは道路幅員がきわめて狭く、一刻も早い改善を求めました。その結果、県道の一部区間を一方通行規制にし市道の一部幅員を3.0m→4.5mに拡幅し、堤防上に待避所空間（延長15m）の設置が実現しました。



青山熊谷線整備促進期成同盟会総会に出席



県道青山熊谷線整備促進期成同盟会総会（会長：小林哲也熊谷市長、副会長：森田光一東松山市長）が開催され出席しました。

現在は東松山市区間の用地買収と和田吉野川に架かる橋の設計施工が進められています。私も早期完成を目指し取り組んでまいります。



台風19号被災と復旧復興に向けた取り組みについて

令和元年東日本台風（台風19号）は、特に九十九川や都幾川、新江川が流れる東松山市内は甚大な被害となりました。私は直ちに被災地に入り状況を確認するとともに、大野元裕知事をはじめ山口泰明代議士（当時）や地元市議会議員の皆さまと、復旧復興に向け取り組みました。また岸田文雄党政調会長（当時）や菅義偉官房長官（当時）、赤羽国土交通大臣（当時）も被災現場を視察され、私も被災地域にて被害状況を説明させていただき、菅官房長官の記者会見に同席させていただきました。

その後、国は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を施行し県を力強くバックアップ。県の復旧復興事業が迅速に進められています。

被災地視察

私が所属する自民党県議団は令和元年11月9日、被害の大きかった都幾川（鞍掛橋 くらかけ清流の郷）を視察しました。県議団40人に加え、大野元裕県知事や県職員、また森田光一東松山市長も同行され、被災の実情を確認しました。

美しい景観を失った現場を見て、議会・行政が一丸となって復旧に向け取り組んでいくことを確認しました。

▶ 東日本台風被災地となった東松山市には、多くの政府関係者が視察に訪れ、被災地区の現状に理解を深めていただき、被災者の声に耳を傾けてくださいました。発災翌日の10月13日には赤羽国土交通大臣（当時）、10月26日には菅義偉内閣官房長官（当時）が訪問。各省庁からの支援内容について東松山市の各方面の代表者に直接お話をいただきました。



一級河川市野川の改修事業

一級河川市野川の水害対策については、これまでに幾度となく県に提言・要請をしてきました。その結果、新しい諏訪堰が令和3年度末に完成。令和4年度は古い堰の撤去と新旧の堰の間の河道整備が進められました。

一方、下流の吉見町大串地区と江網地区には、用地境界が未確定のため未整備となっている箇所があります。県は令和3年度9月定例会での私の質問に対し「1日も早い工事着手を目指し取り組む。国の『国土強靱化のための5か年加速化対策』を最大限活用し、市野川流域の整備を加速化していく」と答弁。現在、堤防補強や嵩上げ、河道の拡幅、堆積土砂の撤去、樹木伐採などあらゆる手法により市野川の河川整備事業を急ピッチで進めています。



慈雲寺橋の橋梁修繕

市野川の河道拡幅工事にあわせ、東松山市と吉見町をつなぐ慈雲寺橋の橋梁修繕工事（護岸復旧工）も順調に進められています。

**声を力に。
声をカタチに。
埼玉の新しい力。**



慈雲寺橋



被害の深刻さ感じボランティアに参加



被害の深刻さを目の当たりにし、浸水家屋の家財撤去・搬出作業など、議員活動の合間を縫ってできる限りボランティア活動に参加してきました。

様々な作業をしながら、たくさんの方々からお話を聞き、時には辛辣なご意見も伺い、議員として貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

皆さまから頂いたご意見は全て、県政に生かしてまいります。

その他の主な河川改修事業箇所

九十九川 新江川 市野川 都幾川 角川 横塚川

河川改修促進期成同盟会が県要望活動

河川改修関連「都幾川・市野川水系改修促進期成同盟会」「新江川水系改修促進期成同盟会」「安藤川・横塚川改修促進協議会」が県に要望活動を行い、東松山市 森田光一市長、川島町 飯島和夫町長、小久保憲一県議とともに同団体の顧問として参加しました。

主な要望内容

- ・市野川の山崎町付近にある諏訪堰（旧）の撤去
- ・九十九川、高坂地区活動センター下流部における調節池と排水機場の設置
- ・新江川の市野川合流地点である山王排水樋管周辺への調節池と排水機場の設置
- ・安藤川舟原橋の橋梁架け替えによる河川流量確保
- ・横塚川樋管の入間川への付け替え



**埼玉県は全国
トップを独走!!**

議員提案政策条例 (平成27年度~令和4年度)

私が県議会議員になってからの2期8年間で、自民党県議団は24件の条例(一部改正を含む)を発議し制定しています。地方議会において議員提案による条例の制定件数は全国1位です。

今後も誰もが暮らしやすい、住んで良かったと思える埼玉県の実現に向け、政策立案に全力で努めてまいります。



- 埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例……………(議決:R4.10.14/施行:R5.4.1)
- 埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例……………(議決:R4.7.7/施行:R4.7.8)
- 埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例……………(議決:R4.7.7/施行:R4.7.8)
- 埼玉県ひきこもり支援に関する条例……………(議決:R4.3.25/施行:R4.3.29)
- 埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例……………(議決:R3.12.22/施行:R3.12.24)
- 埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例……………(議決:R3.3.26/施行:R3.10.1)
- 埼玉県迷惑行為防止条例の一部を改正する条例……………(議決:R2.12.18/施行:R3.4.1)
- 埼玉県受動喫煙防止条例……………(議決:R2.3.27/施行:R3.4.1)
- 埼玉県ケアラー支援条例……………(議決:R2.3.27/施行:R2.3.31)
- 埼玉県被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例……………(議決:R1.12.20/施行:R2.4.1<一部R4.4.1>)
- 埼玉県特殊詐欺撲滅条例……………(議決:H31.3.15/施行:H31.3.19)
- 埼玉県青少年健全育成条例の一部を改正する条例……………(議決:H30.10.12/施行:H31.4.1<一部H30.12.1>)
- 埼玉県主要農作物種子条例……………(議決:H30.3.27/施行:H30.4.1)
- 埼玉県民栄誉章等について議会の議決事件と定める条例……………(議決:H30.3.27/施行:H30.3.30)
- 埼玉県犯罪被害者等支援条例……………(議決:H30.3.27/施行:H30.3.30)
- 埼玉県小規模企業振興基本条例……………(議決:H29.12.22/施行:H29.12.26)
- 埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例の一部を改正する条例……………(議決:H29.10.13/施行:H30.4.1)
- 埼玉県虐待禁止条例……………(議決:H29.7.7/施行:H30.4.1)
- 埼玉県農林水産業振興条例……………(議決:H29.3.27/施行:H29.3.28)
- 埼玉県防災航空隊の緊急運航業務に関する条例の一部を改正する条例……………(議決:H29.3.27/施行:H30.1.1)
- 理容師法施行条例及び美容師法施行条例の一部を改正する条例……………(議決:H28.12.22/施行:H29.12.25)
- 埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしていける共生社会づくり条例……………(議決:H28.3.25/施行:H28.4.1<一部H28.7.1>)
- 埼玉県手話言語条例……………(議決:H28.3.25/施行:H28.4.1)
- 被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例の一部を改正する条例……………(議決:H27.7.10/施行:H27.11.1)

県議として様々な活動・取り組みに東奔西走

東武東上線議連で東武本社に要望



私が事務局長を務める東武東上線利便性向上促進議員連盟は令和4年12月7日、東武鉄道本社へ伺い要望活動を行い、エスカレーター、エレベーターの整備やTJライナーの増便、各駅および踏切の安全対策など幅広く改善をお願いしました。

以前の要望などから、TJライナーの増便や乗降客数の多い駅から順次ホームドアの設置を実施いただいています。今後も利用者の目線に立った改善要望を重ねたいと思います。

県議団勉強会に参加

私が所属する自民党県議団は令和4年12月7日、慶應大学大学院・特任教授であり東京大学地震研究所・名誉教授の瀬瀬一起先生をお招きして「埼玉県の地震の歴史と今後の予測」と題して勉強会を行いました。埼玉県の危険地域の分布図なども交えながら、大規模地震によるリスク回避に向け、行政機関の所在地などを見直すことの重要性について学びました。



■知事が東松山・吉見を訪問



大野知事の「ふれあい訪問」が令和4年11月16日に実施され「まちこうばGROOVIN'（東松山市）」と「コカ・コーラ ボトラーズジャパン（株）埼玉メガDC（吉見町）」を視察されました。

「まちこうばGROOVIN'」は、障害のある人たちの生き甲斐づくりの空間として、主に美術作品の創作や展示ギャラリーに活用されています。



「コカ・コーラボトラーズジャパン埼玉メガDC」では、吉見町と連携したボトルtoボトルの取り組みに関するPR動画の紹介をはじめ、巨大倉庫の内部を視察見学させていただきました。

■東松山市戦没者追悼式典に出席



令和4年10月22日、『東松山市戦没者追悼・平和記念式典』が挙行され出席しました。

今年の式典は、新型コロナ対策を行いながら例年通りの式典として行われ、ご遺族からの平和の誓い、小学生の作文も読み上げられ、平和を願う思いが一つになりました。

■東松山駅で防犯キャンペーンを実施



東松山駅にて令和4年10月28日、防犯のまちづくり街頭キャンペーンを行いました。特殊詐欺の撲滅、自転車等盗難防止を呼び掛け、多くの皆さまに啓発グッズを受け取っていただきました。

こうした啓発活動を通じて、地域住民の防犯対策への意識高揚が図られていきます。安心安全な地域を育むため引き続き皆さまのご協力をお願い申し上げます。



浦和駅東口にて令和4年10月12日、県議会防犯のまちづくり推進議員連盟で行った防犯街頭キャンペーンにてコバトと。

■川島町・吉見町の町制施行50周年記念式典に出席

川島町、吉見町の町制施行50周年記念式典が令和4年11月3日に行われました。式典には、大野知事をはじめ、近隣自治体の首長の皆様や議会議員など多くのご来賓が出席され、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行いながら厳粛のうちに式が挙行されました。

両町とも昭和47年の町制施行から昭和、平成、令和の時代の移り変わりの中で歴代町長、職員、町民の皆さまや企業・団体の皆さまが弛まぬご努力を重ね、まちづくりにご尽力され、現在の町へと発展を遂げられました。皆さまのご尽力に敬意と感謝を申し上げます。



■松高記念館オープンセレモニーに出席

私の母校 埼玉県立松山高校記念館のオープンセレモニーが令和4年11月1日に執り行われました。

大正12年（1923年）に旧制松山中学校の校舎として建設された「松高記念館」。なんとか当時の装いに復元改修したいという同窓生の皆さまの思いを受け、数年間にわたり関係者の方々とともに埼玉県や文化庁へ働きかけを重ねてまいりました。



その結果、令和2年に国登録の有形文化財に登録され、耐震化・復元改修が行われました。皆さまの熱い思いが実り、大正時代の装いに復元され私も深い喜びを感じています。



記念館2階の展示室には、松高の歴史を振り返る貴重な資料等が展示されています。建学の精神である「文武不岐」の100年間の歩みを、是非、皆さまにも感じていただきたいと思っております。



未来へのコンパス

～埼玉県の未来を導く羅針盤～ 5つの政策提言

① 各分野で活躍できる人づくりを進め『元気と安心を生む持続可能な社会』を!

- ・全ての世代にとって易しいデジタル化を社会実装するために専門人材の育成・登用を推進し、**デジタル首都 SAITAMAの実現**を目指します!
- ・社会を支える保育、医療・介護、福祉分野の充実と質の確保には、これらを担う「人づくり」が不可欠です。各分野の**人材の育成、確保と処遇改善**に努めます!

② 地域社会全体で育む教育環境と地域支え合いの仕組みづくりを!

- ・**世代間交流**の機会を通じて、命を大切にする心、他人を思いやる心、地域を思う「郷土愛」を醸成し、道徳観に溢れる『心豊かな埼玉っ子』を育てます!
- ・シニア世代の知恵と豊富な人生経験が地域に活かされる**シニア活躍の機会創出**に努めます!

③ 防犯、防災力を強化し、産業誘導など経済活性化と雇用の拡大を!

- ・国のみならず、県の主導で**防犯、防災・減災対策を強化**し、災害と犯罪に強い強靱な地域を構築するとともに、新たな需要の創出や産業誘導などによる雇用の確保・拡大を目指します!
- ・農業分野への支援を強化し、**生産性、自給率、新規就農者の拡大・向上**へ向けた施策の推進に努めます!

④ 文化・芸術・スポーツ活動の推進と健康長寿社会の実現へ!

- ・文化・芸術・スポーツ活動の推進と**活動の拠点づくり**に努めます!
- ・社会保障の需要を縮小するために**食やスポーツなど、全世代型の健康づくり**を通じた健康長寿社会づくりの推進に努めます!

⑤ 自治体間連携の強化により課題を解決します!

- ・自分たちのまちの成長を導くためには、周りのまちの成長も不可欠です。自治体（市町村）間の競争ではなく、広域自治体である県の視点を活かし、各種施設の共有化など、**自治体間連携の一層の強化**を推進します!

横川雅也 プロフィール

経歴

- ・埼玉県立松山高等学校 卒業
- ・松山高校剣道部主将(三段)・国体出場
- ・東京経済大学経済学部 卒業
- ・体育会帆走(ヨット)部所属 470級主将
- ・全日本470選手権出場(アテネ五輪選考レース)
- ・クルーズ株式会社 入社
- ・現在、株式会社 花恒 取締役
- ・東松山市議会議員 平成23年初当選
- ・決算特別委員会 委員長
- ・東松山市議会議員団 幹事長
- ・埼玉県議会議員 平成27年初当選(現在2期目)

- 生年月日 1979年12月13日生まれ
- 出身 東松山市箭弓町
- 妻・長女・次女と愛犬ラテの5人家族

主な役職歴

- ・埼玉県議会議会運営 副委員長
- ・企画財政委員長/総務県民生活委員長
- ・自民党県議団 副幹事長/政調会 副会長
- ・自民党埼玉県連 青年局長

主な所属団体

- ・東松山ロータリークラブ
- ・比企青年会議所OB会
- ・商工会青年部
- ・(一社)埼玉県テコンドー協会 顧問
- ・NPO法人 ぶらっと東松山 顧問





県議会
ニュース



埼玉県議会議員

もろい まさひで

諸井 真英

諸井 真英 県政事務所

〒348-0053 羽生市南7-18-10

TEL. 048-561-9666

FAX. 048-561-9670

f <https://www.fb.me/moronojapan>

@moronojapan

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

県議会2月定例会報告

県政史上最大規模 《一般会計当初予算》2兆2,284億5,900万円を議決

直面する危機からの脱却と日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現へ

県議会2月定例会は2月17日に開会し、過去最大となる一般会計当初予算2兆2,284億5,900万円等を議決し、3月25日に閉会しました。

「直面する危機からの脱却」と「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」の2つを柱に掲げた当初予算は、最も重要な課題として新型コロナ対策として約1,845.5億円が計上され、ワクチン接種医療機関への支援をはじめ高齢者施設などのクラスター対策の強化などが盛り込まれました。またウイズコロナの下、その有用性が高まっているデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進についても、県庁のDX化を進めるために約31.8億円、中小企業のDX化支援に約1.8億円、キャッシュレス決済の導入を進める商店街支援に約1.4億円などが計上されました。

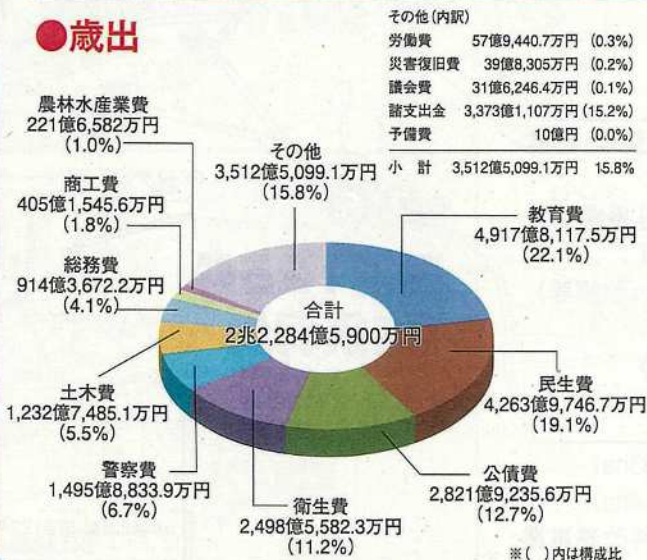
新型コロナ感染症の長期化にともない県の財政は厳しい状況が続きますが、県民の安心・安全の確保を最優先に、人々の生活と健康、地域経済を守るために全力で取り組んでいく所存です。



岸田文雄内閣総理大臣と(写真は令和3年9月に撮影)

令和4年度埼玉県一般会計当初予算

●歳出



埼玉での日本代表戦開催を実現!

今年行われるカタールW杯アジア予選の日本代表ホームゲームに埼玉スタジアムを使用したい、との日本サッカー協会(JFA)の強い要請を受け、県議会サッカー振興議連として県に対してホームゲームを行えるよう強く要望しました。その結果予定されていたメインピッチ芝生張り替えを1年延期して日本代表戦を行えることが正式決定しました。

そしてサッカー日本代表は今年、埼玉で行われた予選3試合を2勝1分で終え、無事にW杯出場を決めました!

これからも日本代表、浦和レッズのホームグラウンドとして、埼玉スタジアムで多くのビッグゲームが行われるようサポートして参ります。



要望に来られた田嶋幸三 JFA 会長と県議会サッカー議連役員

羽生市内の主な事業箇所

令和4年度、予算を確保することができました羽生市内における事業箇所です。

県土整備部(令和4年度当初予算)

路線名等	事業内容
1 羽生外野栗橋線(稲子)	自転車歩行者道整備(L=550m、W=6.0(12.0)m)
2 国道125号(加須羽生BP)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=8,800m、W=13.0(23.5)m)
3 羽生外野栗橋線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,880m、W=6.0(16.0)m)
4 佐野行田線(上新郷)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=275m、W=7.6(12.5)m)
5 上新郷埼玉線(上新郷)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=130m、W=7.0(12.0)m)
6 国道125号(加須羽生BP)	道路改築(L=8,800m、W=13.0(23.5)m)
7 羽生跨線橋(羽生栗橋線)	橋りょう修繕(ひび割れ補修)
8 桑崎陸橋(上り)(国道122号)	橋りょう修繕(剥落防止(秩父鉄道委託)、ひび割れ補修)
9 羽生跨線橋(羽生栗橋線)	橋りょう修繕(橋脚補強)
10 羽生停車場線	電線地中化(道路)整備(管路敷設工事(W=15m、L=400m))
11 国道122号	道路環境整備(側溝新設L=250m)
12 国道122号(桑崎)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=450m))
13 羽生栗橋線(喜右工門新田)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=550m))
14 羽生栗橋線(下羽生)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=250m))
15 国道122号(小松台)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=450m))
16 国道122号(下岩瀬)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=400m))
17 国道122号(上新郷)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=400m))
18 中川	河川改修(橋梁架換工、物件事後調査)
19 中川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(橋梁架換工)

県土整備部(令和3年度2月補正予算)(国の補正対応分)

路線名等	事業内容
補1 羽生外野栗橋線(尾崎)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=120m、W=8.0(10.5)m)
補2 羽生外野栗橋線(藤井上組)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=80m、W=10.8(12.0)m)
補3 羽生跨線橋(上り)(羽生栗橋線)	橋りょう補修事業(橋面舗装)
補4 羽生停車場線	道路構造物維持事業(管路敷設工事(W=15m、L=400m))
補5 中川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(橋梁架換工)

都市整備部(令和4年度当初予算)

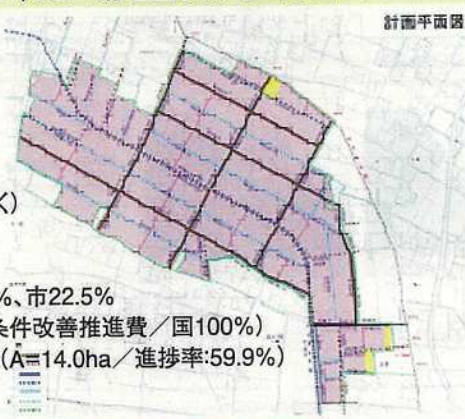
路線名等	事業内容
A 羽生市岩瀬	社会資本整備総合交付金(区画整理)事業(歩道工事、移転補償)
B 羽生水郷公園	社会資本整備総合交付金(公園)事業(非常用自家発電機設備改修等)
C 羽生水郷公園	公園等施設整備(水槽リフレッシュ改修等)

農業基盤整備事業(令和4年度当初予算)

箇所名等	事業内容
1 村君(下村君ほか)	ほ場整備事業(埼玉型)(区画整理33ha)
2 大房(今泉ほか)	ほ場整備事業(埼玉型)(区画整理14ha)
3 藤井下組(藤井下組)	農地中間管理機構農地耕作条件改善事業(区画整理4.2ha)

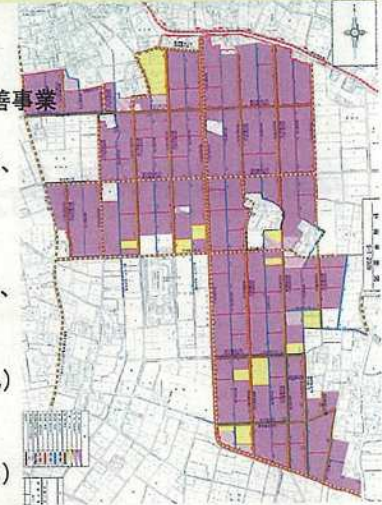
2 大房地区(ほ場整備事業)

- 受益面積:29.6ha(田29.2ha、畑0.4ha)
- 国事業名:農地耕作条件改善事業
- 総事業費:3億8,200万円(工事雑費含む、事務費除く)
- 事業期間:令和2年度~令和5年度(予定)
- 負担区分:国50%、県27.5%、市22.5%
- 令和4年度事業:区画整理(A=14.0ha/進捗率:59.9%)



1 村君地区(ほ場整備事業)

- 受益面積:51.4ha(田48.6ha、畑2.8ha)
- 国事業名:農地耕作条件改善事業
- 総事業費:6億6,900万円(条件改善推進費・工雑含む、事務費除く)
- 事業期間:令和2年度~令和5年度(予定)
- 負担区分:国50%、県27.5%、市22.5%
- 令和4年度事業:区画整理(A=33.0ha/進捗率:66.7%)



18 19 補正 5 一級河川中川(上流工区)事業概要



羽生市における県事業

4

佐野行田線(羽生市上新郷)



10補正④

羽生停車場線外(電線地中化整備)



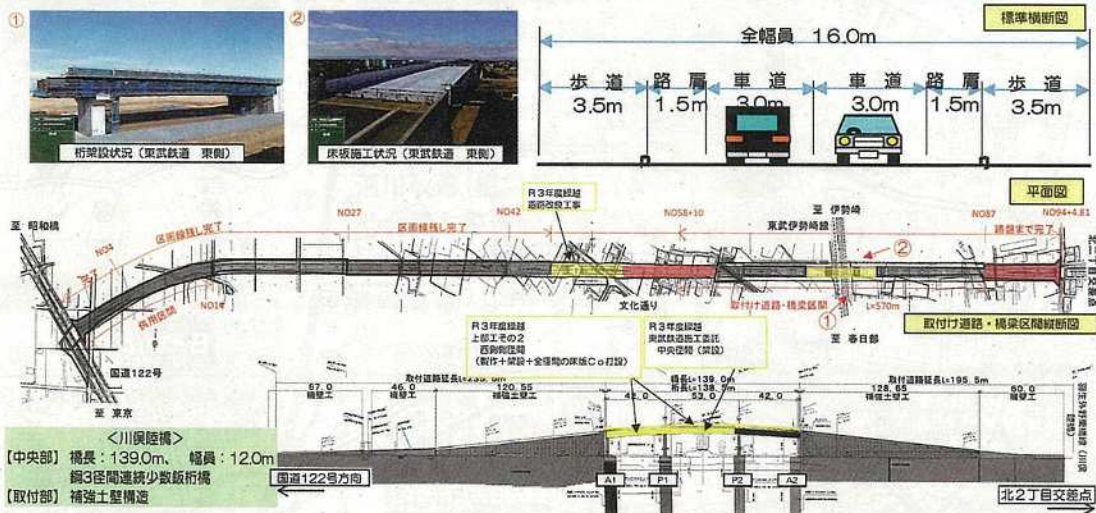
【令和4年度事業】

- ・管路敷設工事
- ・支障物件移設

3 羽生外野栗橋線バイパス(北部幹線)

【令和4年度事業】

- ・道路改良工事
- ・羽生市水道補償(工事)



徳洲会羽生総合病院地鎮祭



地元でコロナ対応含め地域医療に多大なご貢献をいただいている羽生総合病院が既存病床311床に加えて80床を増床するための新棟建築工事地鎮祭が2月8日に行われ、地元選出の県議会議員として出席しました。

病児保育施設、地域包括ケアシステムを完備した素晴らしい新棟は2年後に完成予定です。地域医療がますます充実し、住民の健康、安心安全を守る施設として期待されております。

大野知事が羽生市訪問

大野知事が市民プラザで行われているワクチン接種会場を視察されました。

羽生市では3回目のワクチン接種に関しては県内でも早いスピードで順調に進ん



でいます。太田医師会長、豊田薬剤師会長にご案内いただき、河田市市長と私で同行し、ご説明を伺いました。



埼玉県議会議員

もろい まさひで

諸井 真英

諸井 真英 県政事務所

〒348-0053 羽生市南7-18-10

TEL. 048-561-9666

FAX. 048-561-9670

f https://www.fb.me/moronojapan

@moronojapan

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

もろい真英県政報告会を盛大に開催

高市早苗大臣をお招きし貴重なお話を伺う



1月29日、羽生市産業文化ホールにて県政報告会を開催いたしました。河田羽生市長、野中衆議院議員、関口参議院議員、古川参議院議員ほか多くのご来賓から御祝辞を頂いたほか、特別ゲストとして、次の総理候補と目される高市早苗経済安全保障担当大臣をお招きして、「経済安全保障の取組」についてご講演をいただきました。たいへん貴重なお話を伺うことができ、参加された皆様からも「とても参考になりました」「日本の未来を切り拓くために、まだまだ力を合わせて頑張らなければいけませんね」といったご意見を頂戴いたしました。

お忙しい中、ご来場いただきました皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

埼玉県議会議員 諸井 真英

高市早苗大臣ご講演主旨

経済安全保障の取組みについて大いに語る

I. 戦略三文書の改定について



①国家安全保障戦略=国家安全保障に係る最上位の政策文書

今回初めて「経済安全保障」という言葉が書き込まれたこと

②国家防衛戦略(旧防衛大綱)

新たに加えられた文言「万が一、我が国への侵攻、侵略が生じた場合、我が国が主たる責任を持って対処し、同盟国等の支援を受けつつ、これを阻止、排除する。」について

③防衛力整備計画(旧中期防衛力整備計画)

無人アセット防衛能力、宇宙を活用した通信能力の向上、サイバー体制、インフラや物流体制の防衛強化など、新たに加えられた内容について

II. 国家安全保障推進法について

昨年5月に国会で成立、4つの新しい制度をつくる法律。

①重要物資の安定的な供給の確保に関する制度(サプライチェーンの強靱化)

②重要技術を産学官連携して迅速に開発するための制度

③基幹インフラ役務の安定的な提供に関する制度

④特許非公開の制度

III. 諸井県議は国家観を共有する同志

高市早苗大臣は「諸井県議は私と国家観を共にする同志だと思っています。どういう国づくりをするのか、そして、どういう地域づくりをするのか、また、子どもたちの教育にとって何が大事か、いろんな考え方が一致する大切な大切な同志です。」とのご発言がありました。

これからも国のリーダーとしてご活躍いただき、またご指導いただきながら県政及び地域の発展に全力投球してまいります。



県議会12月定例会報告

エネルギー価格・物価高騰等への緊急支援など

補正予算【第5号】

115億2,695万4千円

補正予算【第6号】

129億1,642万8千円

県議会12月定例会は12月2日から22日にかけて開催され、一般会計補正予算【第5号】及び【第6号】、埼玉県証紙条例を廃止する等の条例などを議決しました。

補正予算【第5号】の主な内容は、長期化するエネルギー価格や物価の高騰等の影響により厳しい状況に置かれている事業者、県民への更なる支援策として46億2,684万7千円が計上されました。また、脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備導入の促進策として10億3,127万6千円が盛り込まれ、中小企業等の省エネ・再エネ設備の導入費用の一部が補助されることになりました。

補正予算【第6号】は妊婦や子育て家庭に対する支援として87億4,533万4千円や幼稚園等の送迎時における事故防止対策として14億9,006万円などが盛り込まれました。これにより一般会計補正後累計額は2兆4,330億3,883万円となりました。

補正予算【第5号】

脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備導入の促進

10億3,127万6千円

高騰する光熱費等の影響の長期化を見据え、その緩和を図りつつ、県内中小企業等におけるエネルギー使用量及びCO2排出量の削減を加速させるため、空調設備、ボイラー等の更新及び太陽光発電設備、蓄電池等の導入経費を補助。



空調設備



ボイラー



太陽光発電設備+蓄電池

補助対象等

- 対象者:中小企業等／●補助上限額:500万円／●補助率:2/3(蓄電池を伴わない太陽光発電設備は1/3)
- 補助対象:空調、ボイラー等の高効率化(蓄電池と組み合わせた太陽光発電設備の導入)

補正予算【第6号】

I. 妊娠期から出産・子育てまでの一貫した支援

87億4,533万4千円

妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の拡充及び出産育児関連用品の購入費等への経済的支援を一体的に行う市町村に対し補助する。

II. 幼稚園等の送迎時における事故防止対策

14億9,006万円

幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、障害児通所支援事業所等の設置者に対し、送迎用バスの安全装置や登園管理システム等の整備を補助する。

III. エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への支援

26億8,103万4千円

- (1) 県内福祉施設に対する支援(7億9,188万1千円)
- (2) 観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援(18億8,915万3千円)

IV. 埼玉高速鉄道線延伸に向けた取り組みの推進

鉄道事業者への要請に向けた調査の実施(債務負担行為の設定)限度額 295万円

県の重要な取り組みについて

県が取り組んでいる施策の中で、私が最も重要と考える施策6項目です。

1 「埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進」について

現在、11の市町が取り組んでおり、今年度からは補助制度も創設。県は全庁を挙げて各市町村を支援し、取り組みの推進を図っています。

埼玉版スーパー・シティプロジェクトのコンセプト

コンパクト、スマート、レジリエントの3つの要素を兼ね備えた市町村の特性に応じたまちづくりを支援

コンパクト
 ・医療、福祉、交通等の複合拠点を整備し、歩いて暮らせるまちづくりを促進
 ・空き公共施設や空き家を活用した地域の交流拠点の創出

スマート
 ・センサーを活用した高齢者や児童の見守り、災害時の情報提供
 ・観光や生活利便性を高めるMaaSやテラトランスの提供

レジリエント
 ・被災地の復旧時、災害時でもエネルギーが途絶えない仕組みの構築
 ・エリアマネジメント組織による地域交流拠点を活用した健康増進、介護予防、多世代交流

2 「埼玉版SDGsの推進」について

県内企業・団体を県が登録する「埼玉版SDGsパートナー」登録制度を創設。県民への普及のための取り組みを進めています。また昨年5月には国から「SDGs未来都市」に選定されました。

将来像の実現に向けた基本姿勢

全ての施策を貫く横断的な視点として、2つの基本姿勢を反映

埼玉版SDGsの推進

- ・全庁一丸でSDGsの視点により施策を展開
- ・全庁的にSDGsの基本理念とゴールをリンク
- ・県民、企業なども巻き込み、「ワンチーム埼玉」で推進

新たな社会に向けた変革～DXの推進～

- ・新しい働き方や暮らしの定着・加速
- ・社会全体のDXの実現

3 「デジタルトランスフォーメーションの推進」について

現在、県が取り組んでいるペーパーレス化はDXの第1段階です。第2段階としては、業務プロセスの見直しや行政手続のワンストップ化など、県民サービスの向上に向け取り組みが進められます。

DXビジョン・ロードマップの策定

社会課題の解決に向け、DXで目指す将来像を明確化したDX推進計画を策定(R3.3) その実現に向けた工程を具体化する「DXビジョン・ロードマップ」を策定(R3.12)

社会課題の複雑化 → 埼玉版DX推進計画の策定(R3.3) → DXで目指す将来像

DXで目指す将来像
 社会全体のDXの実現による
 快適で豊かな暮らしに暮らしやすい
 新しい埼玉への変革

DX推進計画に掲げる将来像を、対象別・分野別に細分化

ロードマップ: DXビジョンの実現に向けた3年間(19-25)の工程・取組を具体化

対象別DXビジョン (県民、事業者等) / 総合DXビジョン / 分野別DXビジョン (防災、環境等)

4 「埼玉県証紙条例を廃止する等の条例」について

証紙の販売は令和5年12月末日まで、証紙の使用期限は令和6年3月末日まで、未使用証紙の還付は令和10年12月末日まで受け付けます。県民や事業者の理解が十分に得られるよう、周知・広報等の対策が重要だと考えています。

埼玉県証紙条例を廃止する等の条例

証紙制度の廃止
 埼玉県証紙条例を廃止する等の条例(案)
 証紙の販売は 令和5年12月末日まで
 証紙の使用期限は 令和6年3月末日まで
 未使用証紙の還付は 令和10年12月末日まで

キャッシュレス化
 電子申請できる → 電子申請 + クレジットカード又はページーでの支払い
 電子申請できない → 窓口 + クレジットカード、デビットカード、電子マネー又はQRコードでの支払い

証紙廃止
 廃止条例(案)12月 証紙は12月 使用終了3月 未使用証紙還付
 キャッシュレス化 証紙に代わる収納場所

5 エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者・県民への緊急支援」について

主な支援事業として「県内地域公共交通事業者に対する支援」「県内医療機関等に対する支援」「企業の価格転嫁に向けた環境整備」「福祉施設等の運営継続に対する支援」「トラック運送事業者の経営改善に対する支援」などがあり、様々な支援策が展開されています。

エネルギー価格・物価高騰等の影響を受ける事業者・県民への緊急支援

県内地域公共交通事業者に対する支援 4億7,230万円

企業の価格転嫁に向けた環境整備 2,534万7千円

県内医療機関等に対する支援 39億3,670万円

県民への緊急支援 2億 680万3千円

県民への緊急支援
 光熱費等の価格高騰の影響を緩和するため、県民が負担している県内医療機関等に対し補助

企業の価格転嫁に向けた環境整備
 サプライチェーン全体の共有共通を促し、県内企業の協力の向上等につなげるため、高騰する原材料費等の適切な価格転嫁を促進

県内医療機関等に対する支援
 県産農産物販売促進キャンペーンを通じて県民の健康増進を図る

県民への緊急支援
 高齢者等の生活困窮を緩和するため、県民が負担している県内医療機関等に対し補助

6 「新型コロナウイルス感染症の拡大防止」について

県はこれまで「検査・医療提供体制の確保・強化策」「ワクチン接種の推進策」「福祉施設における感染拡大防止対策」などに取り組んできました。今年の春以降も「医療体制の維持」など、必要な対策が引き続き進められるよう取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止

検査・医療提供体制の確保・強化 1,481億3,573万7千円

ワクチン接種の推進 75億 230万8千円

検査・医療提供体制の確保・強化
 検査体制の確保
 検査体制の確保
 検査体制の確保

ワクチン接種の推進
 ワクチン接種の推進
 ワクチン接種の推進

検査・医療提供体制の確保・強化
 検査体制の確保
 検査体制の確保

ワクチン接種の推進
 ワクチン接種の推進
 ワクチン接種の推進

政治は結果! 批判より代案

もろい真英16年間での3大実績(県政全体)

1 利根川堤防への太陽光メガソーラー施設建設をストップ 平成27年

太陽光施設の建設が全国で流行する中、加須市大利根地区の利根川堤防への大規模太陽光メガソーラー施設建設の危険性を県議会で指摘、他議員の賛同を得て建設調査費予算を認めず埼玉県政史上初の予算組み替えの事態に。その後鬼怒川や熱海市では洪水、土砂崩れ等の甚大な被害が発生する。もろい真英の流行に流されない、本質を見抜く先見性が羽生市民はじめ近隣市町、関東全体を水害被害から守る。



2 埼玉県立伊奈学園中学校の入試制度を改革! 平成25年

筆記試験を行う前にくじ引き抽選で入学希望者を選抜していた伊奈学園中学校の入試制度を、「実力で入学できない」との父母の声を受けて県教育局に是正を提言。開校11年目からくじ引き入試を廃止、最初から筆記試験で選抜する入試制度に改革を実現!



3 新羽生総合病院の機能充実、医療の質、量の向上に尽力! 令和4年

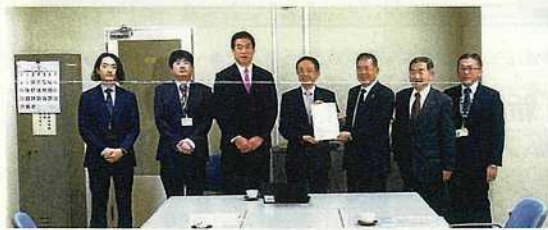
羽生総合病院が地域災害拠点病院に認定されたほか、新型コロナ専用病棟80床を県予算37億円を確保して建設、更に回復期リハビリテーション病棟(40床)、地域包括ケア病棟(40床)計80床の増床(令和6年オープン予定)認可をサポート、地域医療の充実に尽力する。



地域と県政の架け橋として

■市長と意見交換

河田晃明羽生市長はじめ市幹部との意見交換を1月22日に行いました。市幹部からは市政についての説明、県に対する要望などを伺い、私からは県政全般及び羽生市内の県事業について説明させていただき、その後活発な意見交換が行われました。定期的に行われてきた貴重な機会であり、今後も継続して市と連携して、県政とのパイプ役として努力いたします。



■利根川・渡良瀬川の新橋建設を要望

利根川渡良瀬川新橋建設期成同盟会要望は1月21日、地元住民の切実な願いとして、新橋の建設を県(県土整備部長)に提出しました。

■大野知事ふれあい訪問in羽生

大野元裕県知事が江戸時代から続く羽生市の伝統工芸品である「武州正藍染」の製造販売を行う野川染織工業を訪問され、河田市長、島村市議会議長とともに同行し、野川社長から詳細な説明を受けました。

サッカー日本代表「SAMURAI BLUE」のブルーは藍染のブルー。日本人、武士の戦闘色です。田山花袋著 田舎教師の冒頭には「四里の道は遠かった。その間に青縞の市の立つ羽生の町があった」と書かれています。熟練した職人による手作業での生産となるため、化学繊維に比べ大変な手間や時間がかかりますが日本の重要な伝統工芸品として後世に繋いでほしいと思います。



私は『全ては国家国民、県民のため、次世代を生きる子供達の未来のため』私利私欲を捨て、一部の人の利益のためではなく、多くの人、次世代の人の利益のために決断し、行動してまいります。



県議会
ニュース

自民党 Lib Dems
LIBERAL DEMOCRATIC PARTY OF JAPAN

令和5年(2023)統一地方選直前号



埼玉県議会議員

もろい まさひで

諸井 真英

諸井 真英 県政事務所

〒348-0053 羽生市南7-18-10

TEL. 048-561-9666

FAX. 048-561-9670

f <https://www.fb.me/moronojapan>

@moronojapan

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

県議会2月定例会

皆様の声を県政に活かし持続可能な発展を!!

令和5年度一般会計 超大型予算 2兆2,110億9,500万円を計上

県議会2月定例会(2月20日開会~3月17日閉会)は、令和5年度一般会計当初予算(案)2兆2,110億9,500万円の計上について審議しました。

私たち自民党県議団は昨年秋、ポストコロナを見据え地域経済の活性化に全力で取り組むべきと政策大綱にまとめ、大野知事に要望してきました。令和5年度当初予算は、私たちの主張がある程度反映された内容となりました。

長引くコロナ禍に加え、昨年からのロシアによるウクライナ侵攻や円安などによる原油価格・物価高騰は、私たち県民の生活に少しずつ影響をもたらしています。

当初予算は「ポストコロナ元年」を理念として、DX(デジタルトランスフォーメーション)のさらなる推進や中小企業の事業再構築に対する支援強化などが盛り込まれ、課題の解決や経済施策を進め、県の持続可能な発展につなげていく施策となっています。



大野知事とは連携を密に地元問題から県政全体の課題について相談しともに取り組んでいます。

パーキング・パーミット制度[※]の導入に合わせ 自民党県議団が条例の改正を提案

私たち自民党県議団はパーキングパーミット制度の本県での導入に向け、昨年の秋からプロジェクトチームを立ち上げて審議を進め、2月定例会において「埼玉県福祉のまちづくり条例の一部改正」を提案しました。条例では、制度の主旨を県民に分かりやすく告知することをはじめ、実行力のある取り組みを県や事業者等に求めています。

※パーキングパーミット制度とは、公共施設や商業施設などに設置されている車いすのマークが書かれている障害者専用駐車区画の利用対象者を、障害者、介護が必要な高齢者、妊産婦など一定の方に限定し、自治体が利用証を交付することで適正利用を図る制度です。



利用証(イメージ)
車椅子使用者用
その他障害者、要介護者等用
妊産婦、けが人用

令和5年度 羽生市内の県事業

令和5年度当初予算及び令和4年度補正予算(国補正分)において確保することができました、羽生市内の県事業(インフラ整備)箇所です。

県土整備部

令和5年度当初予算

路線名等	事業内容
1 国道122号(小松台)	交差点整備(L=100m、W=25.5m)
2 上新郷埼玉線(上新郷)	交通安全施設整備事業(L=80m、W=8.0(10.5)m)
3 羽生外野栗橋線(稲子)	交通安全施設整備事業(L=550m、W=6.0(12.0)m)
4 新郷停車場線(上新郷)	自転車歩行者道整備(L=130m、W=7.0(12.0)m)
5 羽生外野栗橋線(尾崎)	自転車歩行者道整備(L=120m、W=8.0(10.5)m)
6 羽生外野栗橋線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,880m、W=6.0(16.0)m)
7 国道125号(加須羽生BP)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=8,800m、W=13.0(23.5)m)
8 新郷停車場線(上新郷)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=130m、W=7.0(12.0)m)
9 羽生外野栗橋線	道路改築(L=2,496m、W=8.4m)
10 国道125号(加須羽生BP)	道路改築(L=8,800m、W=13.0(23.5)m)
11 桑崎陸橋(上り)(国道122号)	橋りょう修繕(断面修復)
12 羽生跨線橋(羽生栗橋線)	橋りょう修繕(断面修復)
13 神戸陸橋(国道125号)	橋りょう修繕(橋脚補強、落橋防止)
14 羽生跨線橋(羽生栗橋線)	橋りょう修繕(橋脚補強)
15 羽生停車場線(中央)	電線地中化(道路)整備(電線共同溝)
16 国道125号(砂山)	道路環境整備(防草対策工L=1600m)
17 羽生停車場線(中央)	道路構造維持事業(電線共同溝)
18 羽生栗橋線(南6丁目)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=150m))
19 羽生栗橋線(下羽生)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=200m))
20 鴻巣羽生線(砂山)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=300m))
21 今泉館林線(今泉)	舗装道整備(舗装修繕(W=7.5m、L=350m))
22 羽生外野栗橋線(稲子)	舗装道整備(舗装修繕(W=7m、L=450m))
23 南羽生停車場線(秀安)	舗装道整備(舗装修繕(W=7m、L=450m))
24 国道122号(須影)	舗装道整備(舗装修繕(W=6.5m、L=500m))
25 中川	河川改修(調節池整備工、家屋調査)
26 中川	川の再生推進(遊歩道整備1式)

令和4年度2月補正予算(国の補正対応分)

路線名等	事業内容
補1 羽生外野栗橋線(稲子)	交通安全施設整備事業(L=550m、W=6.0(12.0)m)
補2 上新郷埼玉線(上新郷)	交通安全施設整備事業(L=130m、W=7.0(12.0)m)
補3 佐野行田線(上新郷)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業(L=275m、W=7.6(12.5)m)
補4 桑崎陸橋(上り)(国道122号)	橋りょう補修事業(ひび割れ補修)

都市整備部

令和5年度当初予算

路線名等	事業内容
27 羽生水郷公園	社会資本整備総合交付金(公園)事業(駐車場更新)
28 羽生水郷公園	公園等施設整備(公園等建設費)

令和4年度2月補正予算

路線名等	事業内容
補1 羽生水郷公園	社会資本整備総合交付金(公園)事業(屋外照明LED化改修)



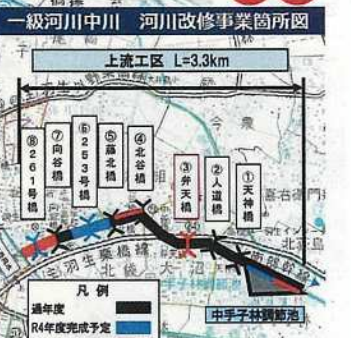
羽生跨線橋(羽生栗橋線)耐震補強



羽生水郷公園



羽生外野栗橋線バイパスは令和5年度中に国道122号桑崎交差点まで開通予定



7 10 下川崎交差点付近



一般国道125号(加須羽生バイパス) 6車線化区間(国道122号・125号重用区間) 行田県土整備事務所

農業基盤整備事業(農林部)

令和5年度当初予算

路線名等	事業内容
1 村君(下村君ほか)	ほ場整備事業(埼玉型)(区画整理16.2ha)
2 大房(今泉ほか)	ほ場整備事業(埼玉型)(区画整理14.1ha)



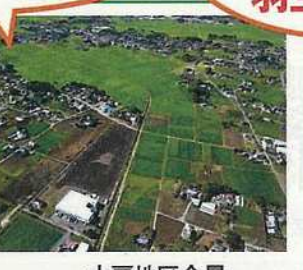
1 村君地区(ほ場整備/平面図)



村君地区全景



2 大房地区(ほ場整備/平面図)



大房地区全景

地元の要望を実現!

もっと暮らしやすい羽生市へ!



もろい真英16年の2大実績(羽生市内インフラ)

1. 羽生水郷公園全面供用開始(平成30年)

昭和56年(1981年)にオープンした羽生水郷公園は、もろい真英が県議会議員に就任した平成19年(2007年)時点での整備面積は公園全体の34%(18.5ha)でした。

地元三田ヶ谷地区はじめ、早期整備を求める羽生市民の声を受けて毎年的一般質問、現地視察を実施した上で要望を上げ続けた結果、平成30年(2018年)に公園用地全体(53.6ha)の整備が終了、全面オープンとなりました。26年間で34%の整備でしたが、もろい真英が県議会議員となってからは11年間で66%の整備となり、劇的なスピードアップを達成しました。

その後も遊具の設置、アトラクションの充実を図りながら老朽設備の更新を行い、羽生市民のみならず県民の憩いの公園として発展させていきたいと思っています。



2. 羽生総合病院新病棟建設中!

現在、病院北側に緩和ケア病床など80床増床のため、新病棟を建設中です。令和6年4月オープン予定となっており、病院機能が充実することになります。

今後とも羽生市民の安心、安全の体制がますます拡充されるよう県とのパイプ役としてサポートしてまいります。

『小さなことではあるけれど、市民の幸せのために』

市民の要望を受けて埼玉県に伝え、要望が実現した例をいくつかご紹介します。

①北袋交差点看板設置(井泉地区)

南部幹線北袋交差点には交差点名、看板がありませんでしたが、地元自治会の要望を受け県、埼玉県警に交渉した結果、北袋交差点看板が設置されるに至りました。



②永明寺古墳を県指定文化財に(村君地区)

羽生市及び村君地区の要望により羽生市指定文化財である永明寺古墳を埼玉県指定文化財に。



③桑崎三神社前の未整備地を駐車場に(岩瀬地区)

長年権利関係の諸問題や地目変更の困難さから手付かずとなっていた桑崎三神社前の未整備地について、土地利用の要望を地元自治会から伺い県当局と交渉した結果、駐車場として整備することができました。



↑埼玉県議会議員 諸井真英 の日々の活動は SNS でご覧になれます。

←諸井真英 埼玉県議会議員
TV MOROMORO CHANNEL
もご覧ください。

次の総理候補と目される高市早苗経済安全保障担当大臣の講演が視聴できます!

私が大事にしている精神に武士道の7つの徳目(義・勇・仁・礼・誠・名誉・忠義)があります。このうち誠とは「嘘をつかない」「真実を語る」ことです。一度言ったことを撤回したり、ウソをつくことは自分の弱さの表れとされました。本当のことを言う、簡単なことですが実行することは難しい。政治家に一番求められる精神です

県政報告

2022年 冬号

埼玉県議会議員 ———— あらき ゆうすけ

荒木裕介

Yusuke Araki

■荒木裕介県政調査事務所

〒338-0832 埼玉県さいたま市桜区西堀2-2-10 1階
TEL 048-872-1255 FAX 048-872-1256

mail : yusuke.araki2009@gmail.com



経済・雇用対策特別委員長として、本会議において特別委員会の報告を行う！

KENSHU HONKOKU

県議会9月定例会報告

最大規模の補正予算で原油・物価高騰、新型コロナへの対応強化へ

補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円

県議会9月定例会は9月22日に開会し、原油価格や物価の高騰、長引く新型コロナへの対応を目的とした補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円の計上等を議決し10月14日に閉会しました。

補正予算の内、74億1,872万4千円は原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援として、トラック運送事業者、観光事業者、農業者、福祉施設等への支援策が盛り込まれています。また、原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援策として15億83万5千円、生活困窮者等への緊急支援策として14億1,017万1千円、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として1,619億6,282万円等が盛り込まれました。

その他、今年1月にふじみ野市で医師らが散弾銃で撃たれて死傷した事件を受け、在宅医療等の安全対策費として1億9,616万円を計上し、複数人での訪問に係る経費や通話録音装置等の導入経費を補助することとなりました。

私たち自民党県議団はこれからも一丸となって、県民誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現に向け、日々邁進してまいります。

令和4年度

所属委員会

産業労働企業委員会
経済・雇用対策特別委員会（委員長）

役職

埼玉県議会自由民主党議員団幹事長代理



ネットカフェ立てこもり事件防止へ

防犯のまちづくり条例の一部改正を可決

ネットカフェでの立てこもり凶悪事件が昨年から今年にかけて相次いで発生したことを受け、自民党県議団は私が事務局長となって「ネットカフェ立てこもり事件に対する安全検討プロジェクトチーム」を立ち上げ、春から検討を重ねてまいりました。先の9月定例会において「『防犯のまちづくり推進条例』の一部改正(案)」として議会に提案し、全会一致で可決することができました。

新たな条例には、ネットカフェ事業者等には防犯責任者の配置や従業員への防犯指導などの努力義務を、県には店舗に対し指導ができるよう立ち入り権限を与えることなどが盛り込まれています。施行は令和5年4月1日からを目指します。



「防犯のまちづくり推進条例の一部改正(案)」について、付託委員会である総務県民生活委員会にて審査され、議案提案者として補助員の高橋裕裕県議(加須市選出)と共に説明・答弁を行いました。

Yusuke Araki

原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援

74億1,872万4千円

- ①福祉施設等の運営継続に対する支援 (21億8,972万8千円)
高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、放課後児童クラブ、私立学校、土地改良区等に対し補助する。
- ②トラック運送事業者の経営改善に対する支援 (35億3,534万7千円)
運送事業者に対し補助するとともに、運送費への円滑な価格転嫁を促進する。
- ③農業者の経営継続に対する支援 (10億8,859万4千円)
価格転嫁が困難な酪農家や採卵鶏農家等に対し補助するとともに、自給飼料の生産性向上を図るため飼料用機械の導入経費等を補助する。
- ④観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援 (6億505万5千円)
本県を目的地とする宿泊旅行に対して、最大3,000円分の地域観光クーポン券を配布する。



原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援

15億83万5千円

- ①グリーン分野への進出に向けた中小企業の事業再構築等の支援 (2億1,357万円)
- ②キャリアチェンジの促進 (1億4,684万3千円)
- ③海外での販路開拓に向けた支援 (1,000万円)
- ④化学肥料の使用量低減に向けた支援 (2億5,057万7千円)
- ⑤県産木材供給体制の構築 (4,900万円)
- ⑥民間企業や地域等の連携による観光振興の取組支援 (5,084万円)
- ⑦環境負荷の少ない自動車の普及推進 (7億5千円)
- ⑧県営住宅や県営公園における省エネ・再エネの推進 (8,000万円)



原油価格・物価高騰等の影響を受ける生活困窮者等への緊急支援

14億1,017万1千円

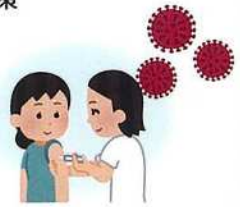
- ①生活困窮者の相談機会の拡充 (2,497万円)
相談支援員、弁護士等の専門家による相談や生活必需品の配布などを行う「生活困りごと相談会」を県内4つのエリアで開催する。
- ②自殺を思い悩む県民の相談体制の拡充 (2,404万6千円)
SNS相談「こころのサポート@埼玉」の体制を強化するとともに、身近な人の悩みに気づき支えることのできる「ゲートキーパー」への理解を深めるため、県民や事業者向けの啓発・研修動画を作成する。
- ③ひきこもり支援の推進 (1,016万4千円)
ひきこもり支援団体の活動内容を周知する動画を作成し、SNS等で発信する。
- ④生活福祉資金特例貸付の借受人の相談体制の拡充 (13億5,099万1千円)
県社会福祉協議会におけるコールセンターの拡充や、市町村社会福祉協議会における弁護士などの専門家による相談体制の強化に要する経費を補助する。



新型コロナウイルス感染症の拡大防止

1,619億6,282万円

- ①ワクチン接種の推進 (75億230万8千円)
- ②医療提供体制の確保・強化 (1,480億4,304万8千円)
- ③感染不安を抱える妊婦への支援 (9,268万9千円)
- ④福祉施設における感染拡大防止対策
 - クラスター発生防止の推進 (35億9,040万円)
 - サービス提供体制の継続確保への支援 (27億3,437万5千円)



◀ JR浦和駅街頭での防犯のまちづくり街頭キャンペーンに参加しました(10月12日)。

大野知事と桜区の諸課題について討議



活動



桜田地区防災訓練にて



▲第20回桜区民ふれあいまつりにて(10月15日)。

県政報告

2023年 春号

埼玉県議会議員 ———— あらき ゆうすけ

荒木裕介

Yusuke Araki

■荒木裕介県政調査事務所

〒338-0832 埼玉県さいたま市桜区西堀2-2-10 1階

TEL 048-872-1255

FAX 048-872-1256



mail : yusuke.araki2009@gmail.com

皆様の声を県政に活かし 持続可能な発展を!!

令和5年度一般会計 **超大型予算** 2兆2,110億9,500万円を計上

県議会2月定例会(2月20日開会～3月17日閉会)は、令和5年度一般会計当初予算(案)2兆2,110億9,500万円の計上等について審議しました。

私たち自民党県議団は昨年秋、ポストコロナを見据え地域経済の活性化に全力で取り組むべきと政策大綱にまとめ、大野知事に要望してきました。令和5年度当初予算は、私たちの主張が一定程度反映された内容となりました。

長引くコロナ禍に加え、昨年からのロシアによるウクライナ侵攻や円安などによる原油価格・物価高騰は、私たち県民の生活に少しずつ影響をもたらしています。

当初予算は「ポストコロナ元年」を理念として、DX(デジタルトランスフォーメーション)のさらなる推進や中小企業の事業再構築に対する支援強化などが盛り込まれ、課題の解決や経済施策を進め、県の持続可能な発展につなげていく施策となっています。



菅義偉元内閣総理大臣と
(写真は令和5年2月25日に撮影)

パーキング・パーミット制度[※]の導入に合わせ 自民党県議団が条例の改正を提案

私たち自民党県議団はパーキングパーミット制度の本県での導入に向け、昨年の秋からプロジェクトチームを立ち上げて審議を進め、2月定例会において「埼玉県福祉のまちづくり条例の一部改正」を提案しました。条例では、制度の主旨を県民に分かりやすく告知することをはじめ、実行力のある取り組みを県や事業者等に求めています。



※パーキングパーミット制度とは、公共施設や商業施設などに設置されている車いすのマークが書かれている障害者専用駐車区画の利用対象者を、障害者、介護が必要な高齢者、妊産婦など一定の方に限定し、自治体が発給する利用証を交付することで適正利用を図る制度です。

社会的課題の解決と経済の両立

1. DXの推進による生産性の向上……………

……………15億7,445万円

■DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

新たな申請基盤の整備・運用【新規】/全庁GIS基盤の整備・運用【新規】/デジタル関連研修の拡充、ノーコードツールの導入【新規・拡充】等



■インフラ建設管理におけるDXの推進

インフラデータ活用基盤の整備【新規】/電子納品保管管理システム開発【新規】等

■3D都市モデル整備によるデータを活用したまちづくりの推進【新規】

■建築・住宅行政手続のデジタル化

要件定義業務【新規】/審査環境の整備【新規】等

■税務行政DXの推進

バックオフィス連携による納税証明書の省路化【新規】/税務システム等の更なる機能強化【新規】等

■入札事務のDX推進

建設工事等入札参加資格申請のオンライン化のためのシステム改修【新規】/電子入札共同システムの再開【新規】等

申請者



■デジタル技術を活用した県民の利便性の向上

キャッシュレス取納の環境整備【新規】/立会人型電子契約サービスの導入【新規】等

■県内中小企業のDX推進

埼玉県DX推進支援ネットワークの機能強化【拡充】/優れたDXの取り組みの表彰・横展開【新規】等



3. 輝き続ける人材の育成・確保……………

……………2億3,307.3万円

■産業人材の育成

AI・IoT関連の応用講座の新設【新規】/AI・IoT関連の基礎講座の充実【拡充】等

■教科等横断的な学びの推進

教科等横断型教育課程の検討・実践【新規】等

■医師確保対策の推進

特設WEBサイトの構築【新規】等

■保育士の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的取り組みの推進

奨学金返済支援制度の創設【新規】等



■放課後児童クラブの充実

保育士養成校へのアプローチ【新規】等



支援額	期間	負担割合
年額18万円(上限) > 総額最大90万円	最長5年間	県1/2・市町村1/2

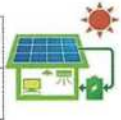
2. 資源のスマートな利用の推進……………

……………18億8,408.7万円

■脱炭素社会の実現に向けた中小企業や家庭への支援

家庭・企業等向け省エネ・再エネ活用設備導入に対する補助【拡充】/電動車等導入に対する補助【新規】等

家庭向け	太陽光パネル(7万円/kW)+蓄電池等(10万円/件)、蓄電池等(10万円/件)、エネファーム(10万円/件)等
企業等向け	太陽光パネル(5万円/kW)+蓄電池(補助率1/3)等、再エネ活用設備(補助率2/3)、コージェネレーション(補助率1/2)



■サーキュラーエコノミーの推進

サーキュラーエコノミー型ビジネスの創出【新規】/県有大規模集客施設における実証及び啓発【新規】/ワンストップ支援拠点による支援【新規】/リーディングモデルの構築【新規】等



■埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進

市町村と企業等とのマッチングを行うガバメントピッチの開催【新規】/プロジェクトに取り組む市町村への財政支援【拡充】(令和5年度は29市町村が取り組む)等



新型コロナウイルス感染症の拡大防止

新型コロナウイルス感染症対策……………

……………1,371億8,479.8万円

■新型コロナウイルス感染症への対応

高齢者支援型臨時施設の確保・運営【拡充】等

■新型コロナウイルスワクチン接種の推進

ワクチンバスの活用【新規】等



ワクチンバス

■福祉施設における感染拡大防止対策への支援等の実施

介護施設等における感染拡大防止対策事業費/放課後児童クラブ等に係る新型コロナウイルス感染症対策事業/新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス継続支援事業/高齢者施設リリーフサービス/感染症り患者ケアラー支援対策事業他





地域と県政を繋ぐ架け橋として

これまで県議会議員として3期、地域の皆様にお支えを頂き、桜区の発展・埼玉県政の推進に努めてまいりました。今後は社会の変革に伴うウィズコロナからポストコロナに向けてAIや5Gなどの技術を駆使したDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、強い埼玉県経済を更に構築することが求められます。

また、地元桜区においても日々多くのご要望を頂きます。駅前の周辺開発や河川の水辺空間における賑わいの創出、また公道の整備に県有地の利活用等、まさに地域住民の皆様の生活に直結した課題をひとつひとつ解決することが議員に課せられた責務であります。

これからも県民の皆様のお声にしっかりと耳を傾け、ともに知恵を出し合い議論を尽くして政策形成を行い、夢と魅力ある桜区の発展と二元代表制における監視機能の担い手として県政推進に邁進してまいります。

埼玉県議会議員 **あらき 裕介**

埼玉県は議員提案条例数全国1位!!

私が県議会議員になって3期10年間で、自民党県議団は28件の条例（一部改正を含む）を発議し制定してきました。地方議会では議員提案による条例の制定件数は全国1位です。

■ネットカフェ立てこもり事件防止へ

昨年9月定例会で制定した『防犯のまちづくり推進条例』の一部改正は、私がプロジェクトチームの事務局長としてまとめ上げました。



議員提案者として総務県民生活委員会で説明・答弁を行いました。

私が重視した主な条例(抜粋)

- ・埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例
- ・埼玉県ひきこもり支援に関する条例
- ・埼玉県受動喫煙防止条例
- ・埼玉県ケアラー支援条例
- ・埼玉県特殊詐欺撲滅条例
- ・埼玉県犯罪被害者等支援条例
- ・埼玉県虐待禁止条例
- ・埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしていける共生社会づくり条例
- ・埼玉県手話言語条例
- ・埼玉県薬物の濫用の防止に関する条例
- ・埼玉県商店街活性化条例
- ・埼玉県がん対策推進条例



大久保五関地区、鴨川堤防階段の補修完了



湖沼川沿道ポケットパークで憩いの場を提供



台風19号時の水害対応



道場地区・桜区役所付近の信号機設置



桜田地区防災訓練

Profile

■昭和51年8月17日生まれ
 ■さいたま市立田島小学校/田島中学校卒
【経歴】
 平成7年 私立芝浦工業大学高等学校卒
 平成11年 東京国際大学 国際関係学部卒
 平成11年 元埼玉県議会議員 長沼威 秘書
 平成17年 衆議院議員 田中良生 公設秘書
 平成25年 埼玉県議会議員 補欠選挙にて初当選（現在3期目）
【議会の主な役職】
 埼玉県議会自由民主党議員団幹事長代理
 経済・雇用対策特別委員会 委員長
 その他、産業労働企業委員会 委員長、県土都市整備委員会 委員長、地方創生・行財政改革特別委員会 委員長、県監査委員 等を歴任
【地域現職】
 さいたま市立田島中学校後援会・顧問
 さいたま市浦和空手道連盟・会長
 さいたま日曜早朝野球連盟・顧問
 ソフトボール ウェスタンリーグ・顧問 など

荒木裕介県政調査事務所

〒338-0832 埼玉県さいたま市桜区西郷2-2-10 1階
 TEL 048-872-1255 FAX 048-872-1256
 mail : yusuke.araki2009@gmail.com



■ご意見、ご要望をお聞かせ下さい。

討議資料



桜区の夢をつなぐ

埼玉県議会議員

あらき 裕介

ゆう すけ

発行：埼玉県議会 自由民主党議員団 県政報告《ダイジェスト版》

埼玉県をリードする桜区を目指して!

地域の声に全力でお応えしています

■大久保浄水場高度浄水処理施設整備事業 がいよいよスタート!

～生活の源である水質の大幅な改良に着手～

私が公約として訴えておりました大久保浄水場の高度浄水処理化が予算化し実現に向けて動き出す。本事業が完成すると、さいたま市をはじめ県南地域等に提供される水に含まれるトリハロメタンやカビ臭を低減し、カルキ臭を抑えることで水質が更に改善され、より安心でおいしい水道水をご利用頂けるようになります。

供用開始は令和11年度の予定です。ご期待下さい!



予算特別委員会にて大野元裕知事と一問一答、県政に対し提言・要請を行った。

■鴻沼川の堤防嵩上げとフェンスの整備

令和元年台風19号によって、県管理の鴻沼川の一区間(西堀地区)が越水しました。



右岸(桜区側)の堤防を嵩上げを行うとともに、フェンスを再整備し、今後の水害対策を講じました。

■衛生研究所跡地を賑わいの創出空間へ

桜区の上大久保地区にある県有地の有効活用に向け、さいたま市からは「スポーツシュール整備構想」の提案があります。今後は県の立場からもしっかりとサポートし、大久保地区の玄関口でもある当該地の有益な整備を目指し進めてまいります。



■大宮バイパスの遮音壁に地元小中学生の 絵画を設置

兼ねてより落書きされていた国道17号新大宮バイパスの田島団地沿い遮音壁に



について、田中良生衆議院議員のお力をお借りし、落書きを消去した後、地元小中学生(田島中学校・田島小学校・西浦和小学校・新開小学校)の皆さんに制作して頂いた絵画を設置するなど、街の大幅な景観改善に努めています。

■大宮バイパスの歩道橋を架け替え

地元の要望を国(田中良生衆議院議員)に届ける形で連携し、老朽化の進んでいた「西堀歩道橋」を新設で架け替え、自転車で渡れるようにするなど地域の皆様の安心安全な利用促進に努めています。

また、「町谷北歩道橋」の溜り場を確保することで特に土合中学校に通う生徒さんをはじめとする利用者の車の巻き込み事故等を防ぎ、南北に掛かる階段を新しく架け替えることで利用者の利便性が向上しました。



■鴨川低水護岸修繕を速やかに実施

大久保領家地(左岸)・五閑地(右岸)等の鴨川護岸がひび割れを起こし地下水が河川に染み出ていることを確認し、直ちに埼玉県土整備事務所へ相談。速やかにボーリングによる地盤の調査を行い、総延長550mになる大掛かりな護岸の修繕と共に水辺の景観も改善されました。



■県立高校のトイレが100%洋式化へ

これまで県立高校のトイレ洋式化に向けて取り組んでまいりましたが、県内139の県立高校における普通教室棟がいよいよ令和5年度に100%の設置となります。



引き続き県(桜区)の課題に全力で取り組みます。《政策》

インフラ整備

- さいたま市との連携による道場三室線と大谷場高木線(田島区)の着実な全線開通で桜区内の東西を幹線道路(町谷本太線含む)で結び、飛躍的なアクセスの向上を
- 桜区の玄関口である西浦和駅周辺と中浦和北側周辺、及び南与野駅周辺の再開発により賑わいを創出し、桜区民の人口増加を促進

防犯・安心安全

- 六間道路の「大型車進入規制」と「スピード制限」を視野に入れた歩行者への安全対策
- さいたま市との連携による各種防犯カメラの設置
- 警察官の増員と警察力を強化し防犯と抑止力の向上
- 振込み詐欺などの特殊詐欺対策を一層強化・撲滅へ

地域経済の強化

- 中小零細企業の経営支援
- 産官学の連携による新製品や新技術の開発を支援
- 空き店舗対策を講じ、地域商店街の活性化

福祉と医療体制

- さいたま市及び桜区における医療体制の充実・強化
- 医師・看護師不足の解消と人材の育成
- 地域包括ケアシステムの更なる体制構築
- 特別養護老人ホーム等の計画整備と在宅医療の充実

子育て教育環境

- 質の高い保育士を養成し、待機児童ゼロへ
- 子供達のいじめや体罰、自殺をなくし健全育成の学校環境づくり
- ノーマライゼーション教育の拡充

公共資産の活用

- 桜区役所南側・秋ヶ瀬公園県有地の有効活用
- 整備が進む荒川第二・第三調節池の有効活用

新たに生まれる河川空間の魅力的な活用方法を提言していきます!

地元生まれ 地元育ちの県議会議員として市政と県政・国政を結び桜区の発展、夢をつなぐ!!